

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【公表番号】特表 2019-530298 (P2019-530298A)
 【公表日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-042
 【出願番号】特願 2019-508919 (P2019-508919)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 1/00 (2006.01)

A 6 2 B 18/08 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 1/00 3 1 8 D

A 6 2 B 18/08 A

H 0 4 R 1/00 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 17 日 (2020.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの骨伝導要素 (12) を含む骨伝導装置 (10) と、
 前記骨伝導装置 (10) が結合されたウェアラブル装置 (16) であって、複数の支持
 軸に沿って前記少なくとも 1 つの骨伝導要素 (12) を安定させるウェアラブル装置 (1
 6) と、
 を備える、骨伝導通信システム (5)。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの骨伝導要素 (12) は、前記ウェアラブル装置 (16) の第 1 の
 位置に結合された第 1 の骨伝導要素 (12 a) と、前記ウェアラブル装置 (16) の第 2
 の位置に結合された第 2 の骨伝導要素 (12 b) とを含む、請求項 1 に記載の骨伝導通信
 システム (5)。

【請求項 3】

前記ウェアラブル装置 (16) は呼吸マスクである、請求項 2 に記載の骨伝導通信シス
 テム (5)。

【請求項 4】

前記ウェアラブル装置 (16) は、面体 (20) と、前記面体 (20) に結合された通
 信コントローラハウジング (22) とをさらに含み、前記通信コントローラハウジング (2
 2) は通信コントローラ (62) を含み、前記通信コントローラ (62) は、
 プロセッサ (140) 及びメモリ (142) を有する処理回路 (138) と、
 通信ユニット (144) を有する通信コントローラトランシーバ (126) と、
 を備え、

前記通信コントローラ (62) は前記骨伝導装置 (10) と電氣的に通信する、請求項
 1 に記載の骨伝導通信システム (5)。

【請求項 5】

ウェアラブル装置 (16)、第 1 の骨伝導要素 (12 a)、第 2 の骨伝導要素 (12 b)
)、及びバンド (36) を備える骨伝導通信システム (5) であって、

前記ウェアラブル装置(16)は、前記ウェアラブル装置(16)の第1の側に第1のストラップ結合要素(40a)を、前記ウェアラブル装置(16)の第2の側に第2のストラップ結合要素(40b)を有し、

前記第1の骨伝導要素(12a)は、

第1の骨伝導トランスデューサ(98)と、

プロセッサ(130)およびメモリ(132)を有し、前記第1の骨伝導トランスデューサ(98)と電氣的に通信する第1の処理回路(128)と、

通信ユニット(122)を有し、前記第1の骨伝導トランスデューサ(98)が第1の処理回路(128)と通信する第1のトランシーバ(120)と、

前記第1のトランシーバ(120)及び前記第1の骨伝導トランスデューサ(98)と通信する第1の増幅器(134)と、

前記第1の増幅器(134)、前記第1のトランシーバ(120)、及び前記第1の処理回路(128)と通信する第1の電源(136)と、

を含み、

前記第2の骨伝導要素(12b)は、

第2の骨伝導トランスデューサ(98)と、

プロセッサ(130)及びメモリ(132)を有し、前記第2の骨伝導トランスデューサ(98)と通信する第2の処理回路(128)と、

通信ユニット(122)を有し、前記第2の処理回路(128)と通信する第2のトランシーバ(120)と、

前記第2のトランシーバ(120)及び前記第2の骨伝導トランスデューサ(98)と通信する第2の増幅器(134)と、

前記第2の増幅器(134)、前記第2のトランシーバ(120)、及び前記第2の処理回路(128)と通信する第2の電源(136)と、

を含み、

前記バンド(36)は、第1の端部(74)及び前記第1の端部(74)とは反対側にある第2の端部(76)を有し、

前記第1の骨伝導要素(12a)が前記第1の端部(74)に位置し、前記第2の骨伝導要素(12b)が前記第2の端部(76)に位置し、前記バンド(36)は、前記第1の骨伝導要素(12a)が前記第1のストラップ結合要素(40a)に結合されるように、かつ前記第2の骨伝導要素(12b)が前記第2のストラップ結合要素(40b)に結合されるように前記ウェアラブル装置(16)に結合されており、前記第1の骨伝導要素(12a)及び前記第2の骨伝導要素(12b)がそれぞれ複数の支持軸に沿って前記バンド(36)と前記ウェアラブル装置(16)とによって安定化されている、骨伝導通信システム(5)。

【請求項6】

ウェアラブル装置(16)であって、

面体(20)と、

プロセッサ(140)及びメモリ(142)を備える処理回路(138)を有する通信コントローラ(62)と、

前記面体(20)に結合されており、少なくとも1つのストラップ結合要素(40)を含む顔係合シール(32)と、を含むウェアラブル装置(16)と、

前記少なくとも1つのストラップ結合要素(40)内にある少なくとも1つの骨伝導トランスデューサ(98)であって、複数の支持軸に沿って前記少なくとも1つのストラップ結合要素によって安定化されており、前記通信コントローラ(62)と電氣的に通信するように構成された骨伝導トランスデューサ(98)と、

を備える骨伝導通信システム(5)。